


 Steiff

AOYAMA

Keyring teddy bear



シュタイフ青山は2013年11月にオープンしてから、おかげさまで5年目を迎えることとなりました。(オープン日は、2013年11月2日)5周年を記念し、青山キーリングを制作しました。手足首と5か所にジョイントが入り、青山店のイメージカラーでもある「パープル」を基調とし、胸元のチェストタグも完全オリジナルバージョン。足裏には、5周年であることの「5」の数字の刺繍を施し、ワンポイントにクリスタルガラスをあしらいました。着脱のできるリングを採用しているので、取り外して飾ることも可能です。是非、この機会にシュタイフ青山までお越しください。

Keyring teddy bear AOYAMA

青山キーリング

678660 ¥19,500(本体) / 日本限定1,500体
モヘア / 12cm / 10月発売

シュタイフ青山 / シュタイフ公式
オンラインショップ先行販売商品

お問合せ

シュタイフ日本総代理店
株式会社 MS1880

〒107-0062 東京都港区南青山3-13-24

TEL : 03-3402-1880(代表)

FAX : 03-6432-9069

E-MAIL : info@steiff.co.jp



© Margarete Steiff GmbH 2018

History of Steiff

シュタイフ社と創業者マルガレーテ・シュタイフ

「テディベアといえば、シュタイフ」世界的にも有名なこのぬいぐるみブランドを創業したのは、1847年南ドイツ・キンゲンという小さな街で生まれたマルガレーテ・シュタイフ(1847～1909)という女性でした。彼女は1歳の時、小児麻痺にかかり、右手と両足が不自由になり、一生を車椅子で過ごすことになってしまいます。マルガレーテの両親は、障害があっても自立できるようにと、学校に通わせ、裁縫もマスターするように育てました。20代になり、シュタイフ社の前身である「フェルト・メール・オーダーカンパニー」を設立し、女性や子ども服の販売を手がけます。

1880年12月、マルガレーテは、甥や姪たちのクリスマスプレゼントに象をモチーフにしたおもちゃを贈ることを考えつきました。素材にはフェルト、中身には最上の羊毛をつめこんだやわらかな象のおもちゃは全部で8体できあがりました。子どもたちにはおもちゃとして、大人の女性には針刺しとしてプレゼントされた象のおもちゃは好評を得ました。ぬいぐるみづくりの



創業者 マルガレーテ・シュタイフ

きっかけとなったこの1880年がシュタイフ社の創業の年とされています。

1897年から事業を手伝ってきたマルガレーテの甥リチャードは、「本物のようなクマのぬいぐるみ」の製作をマルガレーテに提案。これが世界で最初のテディベア



「テディベア」の生みの親であるリチャード・シュタイフ

とよばれる『55PB』で、首と手足が動き素材も最高級のものをつかった最高級で上品なぬいぐるみが誕生しました。この『55PB』は、見本市でアメリカ人バイヤーの目にとまり、やがて改良を重ね、量産体制に入ります。同じころ、アメリカでは、セオドア・ルーズベルト大統領の愛称である「テディ」とともに、クマのぬいぐるみの人気も高まっていく一方で、偽物や粗悪品も出回り始めました。そこで登場したのが、シュタイフ社製品であることを認証する「左耳にボタンをつける」というアイディアでした。これが世界最古のトレードマークでもある「ボタン・イン・イヤー」の始まりで、最高級の品質の証として、今日でも続いております。

世界最古のトレードマーク「ボタン・イン・イヤー」



白タグ+赤文字

地域限定、数量限定、年度限定、など生産数に制限のある限定品に付けられます。レプリカ以外の限定品の大半が、これにあたります。タグには、品番の他、生産年度、製造番号(シリアルナンバー)が表示されます。



白タグ+黒文字

1900年代初頭のシュタイフ製品を復刻したレプリカに付けられます。デザインが同じでも、サイズ、素材などが異なる場合は、このタグを付ける事が出来ません。タグには、品番の他、生産年度、製造番号(シリアルナンバー)が表示されます。



黄タグ+赤文字

定番商品に付けられます。カタログ掲載期間中は数に制限なく、注文に応じて生産されます。

シュタイフ日本総代理店 株式会社 MS1880

〒107-0062 東京都港区南青山3-13-24

TEL : 03-3402-1880(代表) FAX : 03-6432-9069 E-MAIL : info@steiff.co.jp